

きみが眠る夜

和上京鈴

【A】

眠れない夜は
夢の声に耳澄ませ
深呼吸したら
今日を忘れて旅に出ようか

【B】

蒼の世界輝く
きみが笑っていた未来を
過去のぼくは見つめている
届かないんだ

【S】

悲しみに揺れるその瞳は
誰を見つめているんだろう
この叫びが響いた部屋は
狭すぎて聞こえやしないけど
「いつかまた」 その思い出が
忘れさせてくれない

【A】

きみを癒すのは
星屑を詰めたベッド
「信じられないよ」
記憶の中の音符が消える

【B】

なぜ隣にいたのに
ぼくに気がついてくれないの
壊れかけた時計だけが
見守っている

【S】

会いたいと願うこの気持ちを
誰も許してくれないなら
探す道も迷路みたいだ
遠すぎて終わりが見えないよ
「これじゃだめ」 その一言に
胸を締め付けられる

【B】

きみが眠る夜には
優しい子守唄の世界
小さな花束を持って
迎えに行くよ

【S】

悲しみに揺れるその瞳は
ぼくを見つけてくれたんだね
この叫びが響いた部屋が
狭くても君に届いたなら
「待ってたよ」 その面影と
眠りの夜に還る